

# パン屋さんごっこ

## 教科・場面

せいかつ

(製作・調理・感触遊び)

## 授業・実践のねらい

- ・小麦粉や小麦粉粘土の触り心地を楽しむ。
- ・好きな香りを選ぶ、パンが焼ける香りを楽しむ。



## 対象の児童・生徒

- ・小学部3年生



## 教材・教具



## 工夫したところ

五感に訴える内容にした。



## 授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・ふれあいあそび「パン屋さんにおかいもの」→TV絵本「ノラネコぐんだんパンこうじょう」を毎回見ながらパン作りをした。
- ・甘い香りがする、むにむにした感触のパンのスクイズを毎回触り、気持ちを高めてからパン作りをした。

- ①小麦粉を直接触る→ビニール袋に入れた状態で触る→水や油を加えて触る→パン生地になるまでこねる
- ②カレー粉、コーヒー、シナモン、ココアの香りを嗅ぎ、好きなものを選ぶ。香りを楽しみつつ、パン生地の感触を味わいながらこねる。
- ③好きな型でクッキーを作る要領でパン生地の型抜きをする→トースターに入れ、焼ける香りを楽しみながら、出来上がりを待つ。



## 授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・パンのスクイズ（おもちゃ）は、手触りが本物っぽくて甘い香りがするので、食べようとする児童、唾液が出る児童、食べられないと分かっているがとっても嬉しそうな表情になる児童と様々だった。回数を重ねる毎に、なんとなく「本物のパンではなさそう」と気付く児童が増えていった。
- ・カレー粉、コーヒー、シナモン、ココアの香りは、知っている物だと嬉しそうにしたり、口を開けて食べようとしたりするが、知らない物だと不思議そうな表情になっていた。こちらも、回数を重ねると「おいしそうな香り」として認識する児童が増えていった。